



きびっ子だより

令和4年度 金光吉備小学校だより 第6号 令和4年9月7日

考える子
やさしい子
元気な子

金光吉備小学校ホームページ

<http://www.konkokibi-e.ed.jp/>



8月25日(木)から、2学期がスタートしています。久しぶりに、校舎に子どもたちが戻ってきました。

始業式は、新型コロナウイルス感染症予防のため、リモートで行いました。

始業式では、子どもたちに「長い2学期、早く生活リズムを取り戻して、元気に勉強や行事に取り組みましょう。」という話をしました。

また、「今、新型コロナウイルスの感染が広がらないように、十分注意しましょう。しかし、感染対策をしっかりとしても、新型コロナウイルスにかかることはあります。ほかの病気と同じように、もしかかったら、しっかり治し

◆ 机の上を広くするために



1人1台端末を使った授業に取り組んでいます。端末を置くと、子供の机が狭く、使いづらい状況がありました。また、端末を落としてしまうリスクもあります。そこで、浅口市では、子どもたちの机を広く使うための器具「天板拡張くん」を導入しました。これにより、机の奥行きが10cm拡張されました。余裕を持って端末と教科書などを置くことができます。資料が多い社会など、普段の授業でも活用できます。

に避難することができる。の2つを掲げて行いました。子どもたちは、揺れが収まるまで机の下にもぐって待ち、収まると、運動場に走って避難しました。地震が起きた時に自分の命を守るために、頭を守ったり、「おはしも」の約束を守ったりして避難するようにしましょうという話をしました。

◆ 避難訓練(地震)



8月30日、地震による避難訓練を行いました。ねらいとして、①緊急地震速報を聞いた時、地震が起きたりしたときの対処の仕方を知り、自分の身を守る行動をとることができる。②地震後、所定の避難場所に、黙って安全

て、早く元気になりましょう。そして、周りの人は、もし自分がかかったら、どうしてほしいか考えて、自分たちができることを一生懸命がんばっていきましょう。」と話をしました。

現在、岡山県では、「岡山県 BA.5 対策強化宣言」が8月26日に改訂され、「岡山県 BA.5 対策強化期間」が9月30日まで延長されました。学校では、特に感染リスクが高いと思われる活動は控えています。新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、学校教育活動を推進し、感染拡大の防止と学びの継続を両立させるよう取り組んでまいります。

引き続き、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

9月1日は防災の日です。いざ自分の身の回りで大きな地震が起きた時、何に気を付けて、どんな行動をすればよいか、今日の避難訓練で知ることができたと思います。

◆ 校内科学研究・発明工夫展覧会



8月30日から9月2日、図工室に夏休みに子どもたちが取り組んだ科学研究や発明工夫を集めて、校内で展覧会を開きました。ほかの学年の友達の作品も見ることができ、子どもたちはみんな興味深く見学していました。

◆ 参観日



9月2日は、参観日でした。授業参観の後、PTA 人権教育講演会と学級懇談を実施しました。6年生は修学旅行説明会、4年生は、山の学習説明会がありました。当日は、廊下からの参観をお願いしたり、講演会の会場を変更したりなど、急な変更をさせていただきました。ご協力、ありがとうございました。



PTA人権教育講演会では、岡山県青少年健全育成促進アドバイザーの、稲田尚久先生に、「今日から使える！

子どもの自己肯定感を高める関わり方」と題してご講演いただきました。子どもたちが、人生を力強く生きていくために大切な自己肯定感を高めるために、どうかかわればよいのか、具体的なお話で、日々子どもたちに寄り添っている保護者の皆様や私たち教職員にとって、とても参考になるお話でした。

PTA人権教育講演会では、急な会場変更と配信により、参加者の皆様には、ご迷惑をおかけしました。配慮が足りず、申し訳ありませんでした。

◆ なかよし1組の担任が変わりました

◆ 金光地区学校運営協議会



8月4日に、学校運営協議会の「熟議の会」がありました。本年度は、学校運営協議会員のほかに、各校PTA代表、職員代表、地域学校協働活動推進員、金光中学校生徒が参加し、金光地区のめざす子ども像「広い視野と思いやりの心を持った、心身共に元気で明るく前向きな子」の実現に向けた3本柱①郷土愛②自己肯定感・自己効力感 ③あいさつについて、熱心な議論が交わされました。

参加者の感想の一部を、ご紹介します。

「今回の熟議の会、中学生、保護者、地域の方を交えて会が行え、とても有意義でした。いろいろなアイデアが出され、今後、新たな方向性が見つけられたことをありがたく思いました。」

「家庭・学校・地域など全体で協力していかなければ、育てられない3つの柱であることを感じました。」

「話しやすい雰囲気でも金光町の郷土のことを知れて良かったです。金光町の3つの柱についてしっかり学べました。」

「お世話になりました。熟議の会で出されたアイデアが1つでも2つでも具体化され、見える活動になることを期待します。来年はさらに多くの人の集う熟議の会になるようよろしくお願いします。」

今後、熟議の会の話し合いを基に、活動に取り組んでいきます。